



国際ロータリー第2600地区 上田六文銭ロータリークラブ

2019-20年度
国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー氏
第2600地区ガバナー 古川 静男

- 会長 宮澤 広一 ●幹事 北村 久文
- 会報委員長 西澤 文登 ●副委員長 松澤 一志
- 委員 宮原 宏一 合原 亮一



ロータリーは
世界をつなぐ
Rotary Connects The World

【事務局】
〒386-0025 長野県上田市天神4-24-1
上田東急REIホテル 3F
TEL.0268-25-6000 FAX.0268-25-6002
<http://www6.ueda.ne.jp/~ueda6rc/>

【例会日】毎週火曜日12:30~13:30
【例会場】上田東急REIホテル 2F

【創 立】1997年2月18日



会員卓話

「長野」という地名

西澤文登君



今日は地名の由来についてお話いたします。私達が住む長野県は何故長野県なのでしょうか？長野県は奈良

しなのくに

時代初期から「信濃国」と呼ばれて

いました。信州と呼ばれる所以ですが、それ以前は「科野国」と表記されていたようです。何故「しなの」なのかは諸説あるようです。長野という所は元々は善光寺付近の小さな村落だったようです。「長い」は「流れる」につながると言われます。長野というのは文字通り川が流れるように続く長い野原という意味なのでしょう。一体どうして小さな村落の名前が県名にまで出世したのでしょうか？

江戸時代末期、信州には13の藩と俗に天領と言われた徳川幕府の直轄地と幕府の旗本領がありました。近くでは尾野山と和田村は天領ですし殿城の矢沢地区は旗本領でした。慶応4年(1868年)8月2日、維新政府は信州の旧幕府領と旗本領を管轄するために今の上伊那郡飯島町に県庁を置き「伊那県」としました。9月8日に「明治」と改元されます。伊那県は縦に長い地勢ということもあり明治3年9月に北信と東信を独立させ中野に県庁を置く「中野県」を誕生させます。ところが明治初年の世直し一揆のあおりで12月に中野県庁を始め中野の町の主だった所は焼かれてしまいます。世にいう「中野騒動」です。

政府は翌明治4年6月、中野での県庁再建を諦め県政の中心を長野に移します。長野の西方寺を仮庁舎とし「長野県」としました。これがそもそも「長野県」誕生の由来というわけですが、この年の7月に廃藩置県が行われ、伊那

県、長野県の他に松代県、松本県、上田県など今まで藩だった所が県となります。続いて11月に信州は2つの県に集約され、東北信は長野県に、中南信と飛騨が一緒になり「筑摩県」が誕生します。筑摩県の県庁は松本に置かれ、松本城の藩主御殿が庁舎にされます。ところが明治9年6月、火災で筑摩県庁の松本御殿が焼失してしまうのです。明治政府は県をできるだけ集約させようとしていたので、この機に乗じてと思ったかどうかはわかりませんが、その年の8月突然筑摩県を廃止し、長野県に統一してしまうのです。この時飛騨は岐阜県に編入されます。

信州の南北戦争

長野県は中央に山脈が走り、縦に長い形をしています。その県庁が南信の皆様にとっては北のはずれにあるのですから不便に思うのは当然のこと。かたや松本はほぼ県の中心に位置しますから幾たびか松本に県庁を移そうという運動がありました。東北信、特に北信勢も負けてはいません。移庁問題は出るたびにつぶされてしまいます。移庁が不調ならば分県ということで運動が繰り返されました。これまたその度につぶされてしまいますが、時によっては傷害事件が起きるくらい激しい運動だったようです。これを信州の南北戦争と言います。

一度分県が実現するのではないかということがありました。昭和23年3月18日、県議会の分県委員会で「東北信を北信県とし中南信を南信県とする」という法案が通ってしまったのです。4月1日の本会議で議決されれば長野県は二つに分断されることになりました。当時の県会議員は60名。東北信30名、中南信30名でした。出席議員数の過半数で法案は成立しますが、可否同数の時は議長が決めるということになっていました。当時の議長は長野のM氏、副議長は松本のK氏でした。いよいよ4月1日本会議です。何があったのかM議長は欠席でした。他の議員はすべて出席、議会が始まりました。K副議長が議長となり投票が行われます。総投票数58。中南信の議員の思惑では賛成29、反対29の同数でK副議長の賛成で過半数30となり分県法案は成立するはずでした。ところ





が法案は通りませんでした。白票が3票あったのだそうです。賛成29で過半数とはなりませんし、可否同数ではありませんので議長決済にはならないというわけです。東北信側の作戦勝ちでした。議場傍聴席は騒然となったそうですが、しばらくして傍聴席の片隅から「信濃の国」の歌声が聞こえ、やがて大合唱になったということです。以来、移行法案も分県法案も具体的には出てこなくなったそうです。

会長挨拶

東日本大震災について

会長 宮澤 広一君



3月10日です。0の付く日は、請求書の締め日や支払日になっている会社が多いかと思えます。そのようなときに例会にご参会いただき

まして誠にありがとうございます。

さて今日は、お話しするとしたら、やはり東日本大震災のことでしょうか。9年前の明日、2011年3月11日の午後に大地震が起きました。忘れもしません。当時、台湾で仕事をしていて、帰国した翌日のことだったからです。事務所で台湾にてやってきた仕事の整理と次に送らなければならない資材の手配をしているとぐらぐらと揺れ始めその揺れはかなり長くつづいたことを記憶しています。ゆれが収まってからテレビを付けると東北を震源とする大地震があったことをニュースでやっていました。長野県内も結構ゆれました。あわてて、台湾に残してきた作業員達に連絡し、家族や家屋の安全を確認するように伝えたことを今でも覚えています。その後、私は約1年にわたり毎月ボランティアのために東北(主に石巻)を訪れ、漁師さんの道具をしまう小屋を建て直すという作業をしました。その経験は、自分の人生のなかでも貴重な経験として残っています。寒い時期もあれば、温かい時期もあったのですが・・・温かくなってくると、至る所で、水産加工工場から流れ出たであろう水産物の腐敗臭はかなりショックでした。ボランティアを行うに当たって、被災者の家に泊めていただきながらボランティアをしたのですが、そこで食事までいただき、夜はお酒までいただき、いろんな話を聞かせていただきました。逆に、東北の方々のたくましさに、こちらが元気をもらって帰ってきたような気がしました。

あれから9年が経とうとしています。東北はかなり復興が進み昨年はラグビーワールドカップも開催されました。私自身も昨年2泊3日で東北をツーリングしてきたのですが、三陸自動車道もかなりつなが

ったし、街もすっかりきれいになって、大震災があったとは思えないほどになっていました。懐かしく感じたので、グーグルストリートビューを見ていたら、釜石の片隅に当社のトラックが写っていることを発見しました。ツーリングではよれなかったのですが、いつかまたボランティアをした石巻の蛤浜やお寺の復興工事をさせていただいた釜石を訪れたいと思います。9歳も若かった頃の自分を思い出したいと思います。

さて、3月は「水と衛生」月間です。世界の人口が75億人と言われるなか、非衛生的な水を飲まざるを得ない人達がまだ22億人もいるそうです。その被害はやはり子供達に多いようです。世界の子供達に安全に管理された水を供給するにはどうしたらいいか？我々にできることはないのか？あります！ロータリー財団へ寄付することです。ロータリー財団は安全に管理された水を届けるための事業を行っているそうです。まだ遅くはありません。R財団への寄付をお願いします。

幹事報告

幹事 北村 久文君

- RIより
 - ・2020年3月 ロータリーレート 1\$=110円
 - ・財団室ニュース 3月号
 - ・国際ロータリー出版物 販売終了のお知らせ
 - ・ブラック・タイパーティーのご案内
- オクトンより
 - ・カタログ送付及び商品価格改定のお知らせ
- 国連UNHCR協会より
 - ・シリア難民支援のお願い

惠送

1. 丸子RC様・・・会報

出席・ニコニコBOX報告

吉田 穰君

	ベース	欠席	メイク	出席率
本日	25	4	0	84.00%
前々回	25	5	2	88.00%

肥田野秀知君	笠原 一洋君	松澤 一志君
田中 栄一君	小嶋 修一君	北村 久文君
水野 泰雄君	飯島 俊勝君	合原 亮一君
宮原 宏一君	宮澤 広一君	中澤 信敏君
柄澤 堯君	西澤 尚夫君	西澤 文登君
杉山 裕君	山崎 芳雄君	斉藤恵理子君
飯島 伴典君	齊藤 仁君	吉田 穰君

例会日報

- 司 会 渡邊 章貴君
- 開会点鐘 宮澤 広一君
- 斉 唱 それでこそロータリー